

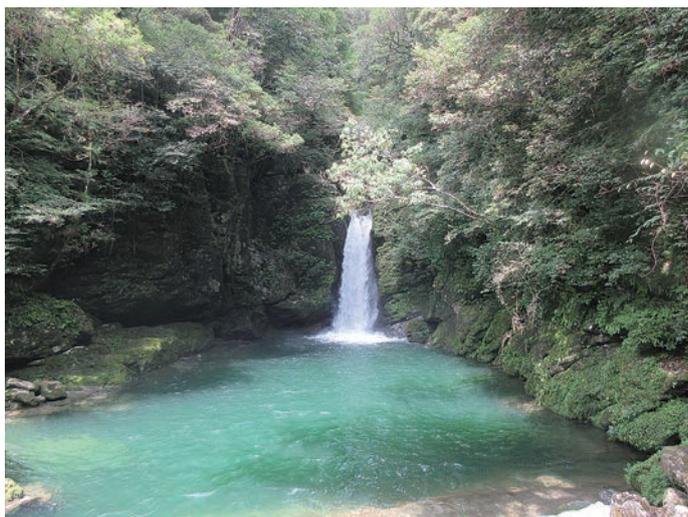
日本観光研究学会・関西支部ニュースレター

写真：日本一の水質を誇り高知県6市町村を流れる仁淀川、にご淵の滝の風景（撮影：小長谷）

# 観光学

第9号 2020年度  
(2021年3月発行)

JITR-Kansai  
Japan Institute of  
Tourism Research No.9



★日本観光研究学会・関西支部（JITR-Kansai）ホームページ→【 <http://www.kankoryoku.jp/> 】  
ニュースレター『観光学』第9号 2020年度（2021年3月発行）

## 1. 2020（令和2）年度関西支部活動をふりかえって（支部長 小長谷一之）

本年は1年間、コロナ禍の条件下での支部活動となりました。観光産業と同じ目線で感染予防マネジメントをおこない、感染がおちついた時期をねらって、代表的な2大活動（中四国の会員・地域の応援のための「中四国現地研修会」、関西地域の自治体応援のための「地区懇話会」）を無事、現地開催できました。また、コロナ禍と戦っている産業・実務関係者のために、意見交換会では「after/with コロナ時代の観光のあり方」を、観光サロンでは「オンラインツアーのポイント」について議論し、関心高く、例年以上の多数の参加があり、ふつづつながら貢献できたのではと思っております。関係の先生方、みなさまに深く感謝申し上げます。

## 2. 2020（令和2）年度関西支部活動をふりかえって（副支部長 原一樹）

コロナ禍に見舞われた2020年度でしたが、関西支部意見交換会をオンラインにて、中四国研修会を高知県（仁淀川流域）にて、地区懇話会を尼崎市にて無事、開催することができました。加えて、南・東南アジアにおける住民参加型観光産業に関する観光学研究部会、コロナ禍でのホテルや旅行会社の様々な取組みに関する観光サロンもオンラインで開催し、多くの知見を得ることができました。今後とも、支部活動を宜しくお願い致します。

## 3. 支部活動1『関西支部総会』+『第17回 意見交換会：関西から観光立国・立圏を考える』「オンラインシンポジウム・アフターコロナ時代における関西の観光を考える」（後援：国土交通省近畿運輸局）※例年は同日ですが今回は別日となりました。

【総会】（1）日時：2020年4月29日（水・昭和の日）13:00～13:30、（2）場所：イオンコンパス大阪駅前会議室、（3）議案 第1号議案・支部役員を選任、第2号議案・2020年度活動報告ならびに収支決算、第3号議案・2020年度活動計画ならびに収支予算案。リアルの会議をおこない無事終了しました。

【意見交換会】（1）日時：2020年8月1日（土）意見交換会14:00～16:30。（2）会場：Zoom ウェビナー。（3）プログラム 1）趣旨説明：日本観光研究学会関西支部長 小長谷一之（大阪市立大学大学院都市経営研究科教授）。2）基調講演「アフターコロナ時代における関西の観光を考える」国土交通省近畿運輸局観光部長 角谷敬二郎 氏。3）オンラインシンポジウム「アフターコロナ時代における関西の観光を考える」コーディネ

一タ：日本観光研究学会関西支部長 小長谷一之（大阪市立大学大学院都市経営研究科 教授）。○パネリスト：国土交通省近畿運輸局 観光部長 角谷敬二郎 氏 [基調講演者]。大阪観光局 マーケティング事業部長 塩見正成 氏。堺市 観光部 観光部長 高屋敷秀樹 氏。明日香村 産業づくり課 課長補佐 小野智貴 氏。池田市 市民活力部 空港・観光課 課長 齋藤宏太 氏、主事 大門康平 氏。河内長野市 環境経済部 理事 島田俊彦 氏。（4）観光産業において新型コロナウイルスの深刻な影響があり、今回の意見交換会では、新型コロナウイルスの感染拡大防止を意識しながら再開を始めた取り組みや悩みについて情報交換のできる場を設定し、タイムリーな政策情報を得られる機会にするとともに、日本観光研究学会の研究者・実務家等も交え、産官学が一体となってアフターコロナ時代の観光のあり方について課題解決のために活発な議論をおこないました。大変関心が高く全国から145名の参加がありました。



#### 4. 支部活動2『地区懇話会』「「ジョーのある町・尼崎」観光まちづくりの未来を考えるー働くまちに加えて、訪れたい、そして、住みたい魅力あるまちへー」（主催：日本観光研究学会関西支部主催、共催：尼崎市・（一社）あまがさき観光局）

【日時】2020年3月6日（土）9:30 集合～まちあるき、14:00～基調講演・シンポジウム【会場】尼崎市立歴史博物館3F講座室（阪神尼崎駅・南東徒歩10分）★「地区懇話会とは？」日本観光研究学会の関西支部で毎年、自治体と連携する地域大会です。近年「定住人口だけでなく交流人口へも注目」という政策で一般的な住宅都市や産業都市でも観光都市を目指すところが増えてきており、これまで堺市（2016年度）、池田市（2017年度）、河内長野市（2018年度）と応援し、2020年度は尼崎市で開催することになりました。尼崎城は大阪城十岸和田城+尼崎城が3身一体で西国の守りであった名城であり、2019年3月に現存する精密な図面をもとにして、企業家や市民の寄付などを財源として、平成最後のお城として再建され寺町や商店街等も含む阪神尼崎エリアの観光まちづくり化が進みつつあります。尼崎の観光の魅力や未来について語り合いました。【プログラム詳細】（第1部）9:30～ エクスカーション○集合：あまがさき観光案内所（1）尼崎レンガ倉庫（2）尼崎城（施設内見学）（3）櫻井神社（4）寺町（本興寺～大覚寺～長遠寺）（5）尼崎えびす神社（6）商店街周辺で解散。（第2部）13:00～ 歴史博物館見学。（第3部）シンポジウム ○基調講演 尼崎市市長 稲村和美氏 ○パネルディスカッション<パネラー>太田垣亘世氏（尼崎えびす神社宮司）、松山大輔氏（阪神電気鉄道（株）沿線価値創造推進室部長）、若狭健作氏（尼崎南部再生研究室）、高村陽子氏（一般社団法人あまがさき観光局 事業部長）<コーディネータ>小長谷一之（日本観光研究学会関西支部長、大阪市立大学大学院教授）。参加者数は、第1部13人、第2部11人、第3部47人でした。=>★最終ページにも写真



## 5. 支部活動3「観光学研究部会」

（1）第1回観光学研究部会 【日時】2020年11月24日（火）19:00～【会場】オンライン（Zoom）  
【テーマ】「南・東南アジアやアフリカにおける住民参加型観光産業への挑戦」【講師】砂野 唯（すなの ゆい）氏（広島女学院大学人間環境学部生活デザイン学科 専任講師）。



## 6. 支部活動4「観光サロン」

（1）第1回観光サロン 【日時】2020年9月29日（火）19:00～【会場】オンライン（Zoom）【テーマ】「コロナ禍の中での私たちのホテルの取り組み」【講師】株式会社 王宮（道頓堀ホテル）専務取締役 橋本明元 氏 概要：若手社員に権限を与えることで就職でも人気があった経営戦略で有名な株式会社王宮（道頓堀ホテルグループ）の役員に、インバウンドに特化したホテルが、この数か月インバウンドが動かない時期

にどのように活動して、今後 With コロナの時代に事業を考えていくのかをお話いただきました。

（2）第2回観光サロン 【日時】2021年3月23日（火）19:00～【会場】オンライン（Zoom）【テーマ】「コロナ禍における旅行業・オンラインツアーの現状とコロナ後の展望」【講師】JTBヨーロッパマイバス事業部長 深澤秀徳氏 概要：昨年来のコロナ禍における旅行業の現状や、新たな観光の形としてのオンラインツアーの造成や運営の仕方、参加者の属性や反応、これまでの成果や今後の課題・展望等についてお話をいただきました。日本全国から80名以上が参加し、講演終了後は活発に質疑応答が展開されました。



7. 支部活動5『中四国現地研修会』「仁淀ブルー研修」【会場】仁淀川流域【日時】2020年8月26日～27日。【概要】日本観光研究学会関西支部では、中四国研修会を、2014年度は太平洋岸の高知（黒潮町の砂浜美術館）、2016年度は瀬戸内・四国側の愛媛（三津浜地区・道後温泉）、2017年度は瀬戸内・中国側の広島（尾道市の町家・千光寺山の坂、しまなみ海道）、2018年度は日本海側の鳥取・倉吉・由良エリア、2019年度は、四国・徳島県内陸部「にし阿波」で開催。第6回目の2020度は、日本一の清流として人気上昇中の高知県仁淀川流域で「仁淀ブルー研修」を実施いたしました。仁淀ブルー地域を構成する多くの自治体、土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越智町、日高村の関係者様、高知県コンベンション協会、DMO仁淀ブルー観光協議会等多数の団体の皆様と大変活発な議論がおこなわれ、感染予防を徹底し無事終了することができ深く感謝を申し上げます。【2020年8月26日（水）】○現地集合12:10（JR土讃線）佐川駅改札口（1）佐川町街歩きと司牡丹酒造見学（徒歩）（2）昼食（3）中津溪谷見学（4）佐川町内会場で行政・担当団体のみなさまと意見交換会。【2020年8月27日（木）】（1）いの町紙の博物館視察（2）名越屋沈下橋見学（3）仁淀川屋形船（弁当付き）（4）にこ淵視察。=>★最終ページにも写真





## 8. 支部活動6 関西支部幹事会開催記録（2020年度）

- 第1回 2020年6月7日（日）13:00～ 会場：オンライン（Zoom）
- 第2回 2020年6月23日（火）19:30～ 会場：オンライン（Zoom）
- 第3回 2020年7月28日（火）19:30～ 会場：オンライン（Zoom）
- 第4回 2020年9月29日（火）18:00～ 会場：オンライン（Zoom）
- 第5回 2020年10月27日（火）19:30～ 会場：オンライン（Zoom）
- 第6回 2020年11月24日（火）18:00～ 会場：オンライン（Zoom）
- 第7回 2020年12月22日（火）19:30～ 会場：オンライン（Zoom）
- 第8回 2021年1月26日（火）19:30～ 会場：オンライン（Zoom）
- 第9回 2021年2月24日（火）19:30～ 会場：オンライン（Zoom）
- 第10回 2021年3月23日（火）18:00～ 会場：オンライン（Zoom）

## 9. 支部活動7 NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」の応援と協働

### （1）NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」本年度を振り返って（理事長挨拶）小槻文洋

新型コロナウイルス感染防止の工夫を問われた1年でした。観光マネジメント講座は例年の講座内容を圧縮しオンライン開催としました。学生連絡協議会の活動では、会員学生の京都市内での歴史文化体験、城崎温泉の現地視察が実現し、オンライン開催となった第7回学生研究発表会、城崎温泉大將様のご助力を得て実現した新たな「城崎温泉誘客アイデア発表会」も充実した内容となりました。今後も、オンライン活用も含めて工夫を重ねつつ地域振興や人材育成のための活動を推進して参ります。

### （2）NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」本年度を振り返って（副理事長挨拶）松田充史

本年度も今までの事業を継続し、「地域創造のための観光マネジメント講座」をオンラインで開催するなど、コロナ禍ではありますが時代に即した「観光力」を発揮し、地域振興や人材活動に取り組みました。また、感染予防対策を十分に配慮しながらおこなった学生連絡協議会「城崎視察調査」をサポートし、旅館・飲食・土産店の取り組みや観光政策の現状について、学生たちの学びを後押ししました。さらに、オンラインで開催された「学生研究発表会」や「城崎温泉誘客アイデア発表会」を通して、観光の未来につながっていると実感いたしました。

### （3）NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」本年度を振り返って（副理事長挨拶）小長谷一之

本年は1年間、コロナ禍の条件下でのNPOとなりました。学生の安全のため万全を期して、感染がおちついた時期をねらって、「歴史文化体験」と「城崎視察調査」を無事、現地開催できました。特に后者は、新設した「城崎温泉誘客アイデア発表会」でその結果が発表され、素晴らしいアイデアが多く披露されました。例年の「学生研究発表会」は卒業研究にもとりくむ上回生、「アイデア発表会」はその前段階の自由研究ともいえます

が、優秀なものばかりで、学生の自由な発想と活動力が本当に本会の誇りと思います。

#### （４）第15回「地域創造のための観光マネジメント講座」の開催（今年はオンラインで3日間）

【日時】★全8回3日間すべて土曜（2021年1月16日・23日・30日）【会場】オンラインZoom。【プログラム】●第1日目1月16日（土）【ステップ1：地域創造型観光の基盤：地域資源の再発見と再評価の方法】第1回（13:00～14:10）「地」の観光としてのエコミュージアム」講師：吉兼秀夫（京都外国語大学特任教授）。第2回（14:20～15:30）「見えない宝を探し、創り出すコンテンツツーリズム」講師：原一樹（京都外国語大学教授）。第3回（15:40～16:50）「顧客と地域人材のマーケティング」講師：森山正（大阪観光大学特命教授）。●第2日目1月23日（土）【ステップ2：地域創造型観光の計画：地域資源の観光への活用方法】第4回（13:00～14:10）「ヘルスツーリズムと地域創造」講師：辻本千春（流通科学大学教授）。第5回（14:20～15:30）「観光マネジメントとまちづくりの計画」講師：小阪昌裕（地域計画建築研究所主幹）。第6回（15:40～16:50）「プロモーションとイベントの活用方法」講師：桑田政美（大阪市立大学大学院客員教授）。●第3日目1月30日（土）【ステップ3：地域創造型観光の運営：事業継続の方法】第7回（13:00～14:10）「事業推進のための制度の活用と資金の調達」講師：金井萬造（立命館大学客員教授）。第8回（14:20～15:30）「地域創造型観光のマネジメント～成功事例からみる7つの原則～」講師：小長谷一之（大阪市立大学大学院教授）。

#### （５）学生連絡協議会（学連協）の応援

1) 観光カネット・学連協「城崎視察調査」【実施日】2020年12月13日（日）【参加大学】大阪観光大学、大阪成蹊大学、関西国際大学、流通科学大学（50音順）【参加人数】学生13名+引率教員【趣旨】3月12日に開催する「城崎温泉誘客アイデア発表会」に向けて、関西の4大学から13名が参加し、城崎温泉の現地調査と施設見学を行いました。特にコロナ禍における城崎温泉の旅館や飲食・土産店、そして外湯などの現状や取り組みを学生が直接ヒアリング、調査する目的で実施しました。【当日の行程】（1）12:00 城崎駅集合（2）城崎温泉旅館経営研究会・大将様のレクチャー（城崎温泉の概要、コロナ禍での取り組みと現状）（3）昼食、街並みを観察しつつ西村屋招月庭まで移動（4）西村屋招月庭 見学（4グループに分かれて行動）（5）城崎国際アートセンター見学（6）自由調査（7）17:00 現地解散。（文責：五嶋俊彦）



2) 観光カネット・学連協「【歴史・文化体験】秋の京都ツアー」（京都・東山、陶芸体験と清水寺周辺）【実施日】2020年9月20日（土）【参加大学】大阪観光大学、関西国際大学、神戸国際大学、摂南大学、阪南大

学、流通科学大学 (50音順) 【参加人数】 11名 【当日の行程】 (1) 集合 12:30 京都河原町駅 (2) 集合後徒歩で京都瑞光窯へ (3) 陶芸体験 電動ろくろでティーカップ作り (4) 三年坂へ移動、1時間程まちを自由行動 (5) 清水寺拝観・見学 (6) 16:30 現地解散。(文責: 高根沢均)



**3) 学生研究発表会** 【実施日】 2021年2月11日 (水) 11:30~17:30。【会場】 オンライン (Zoom) 【概要】 学生発表会は、観光力推進ネットワーク関西学生連絡協議会に所属する学生が1年間研究した成果を発表しあう発表会です。今年はオンラインでしたが、多数の参加があり、各自、熱のこもった発表が続きました。11チーム、参加大学は6大学でした。【参加】 京都外国語大学、流通科学大学、大阪観光大学、大阪成蹊大学、阪南大学、神戸国際大学。コロナ禍においてフィールドワークが十分にできない状態でしたが、WITH コロナの時代の観光はどうあるべきか、マイクロツーリズム、ダークツーリズム、eスポーツ観光、などの今年ならではのテーマもありました。(文責: 桑田政美 (審査委員長))



**4) 観光力ネット・学連協「城崎温泉誘客アイデア発表会」** 【実施日】 2021年3月12日 (木) 【会場】 オンライン (Zoom) 【概要】 城崎温泉旅館経営研究会/旅館「錦水」主人の大将伸介様をコメンテーターにお招きし、大阪観光大学・関西国際大学・京都外国語大学・流通科学大学の各学生グループによる「城崎温泉誘客アイデア発表会」を開催しました。城崎現地視察や、各自の調査の結果として、独自の研究の成果が披露されました。食べ歩き提案、インスタグラムの活用の提案、ワーケーション実施の提案など、様々な提案が学生達から為され、コメンテーターとの質疑応答も活発に行われました。(文責: 原一樹)



（写真）4. 支部活動2『地区懇話会』「ジョーのある町・尼崎」



（写真）7. 支部活動5『中四国現地研修会』「仁淀ブルー研修」

